

HRH プリンセスチュラブホーン医科大学（PCCMS）とディスカッションカフェを開催しました

2月28日（日）、HRH プリンセスチュラブホーン医科大学（PCCMS）と東京医科歯科大学（TMDU）の1年生40名が、3時間のディスカッションカフェにオンラインで開催されました。

ディスカッションカフェは、学生がさまざまな大学や国の他の学生と交流し、ネットワークを築くことができるイベントです。参加者は、自分たちの快適ゾーンから出て、積極的にアイデアを共有し、最終的には自分たちと世界の間の壁を打ち破ることを目指します。

これは、PCCMS と TMDU の間で開催された最初のディスカッションカフェでした。各大学から20名の学生（16名の参加者と4名のタスクフォースメンバー）がこのイベントに参加しました。これは2つの大学間の最初の交換だったので、学生はイベントの前半、お互いをよりよく知るために費やしました。まず、タスクフォースのメンバーが短いプレゼンテーションで自分の大学を紹介しました。その後、生徒たちはアイスブレイクのために4人のグループ（各大学から2人の生徒）に分けられ、彼らは日常生活と母国について話しました。後半は、タイ、日本、そして国際社会における医学的問題に関する学術的議論に専念しました。8つのグループのそれぞれに、ワクチン接種防止運動やパンデミック下のメンタルヘルスなどのCOVID-19関連の主題から、遺伝子改変や適切な医療制度などの最近の道徳的問題まで、さまざまなディスカッショントピックが与えられました。セッションの最後に、各グループは5分間のプレゼンテーションでディスカッションの成果を共有しました。

全体として、このディスカッションカフェは、PCCMS と TMDU の間の交換のパイロットプロジェクトとして成功しました。多くの学生がこのイベントで提供された文化交流とハイレベルな議論を楽しんでいるようでした。この経験をもとに、近い将来、さまざまな内容で両大学の連携を深めていきたいと考えています。



全体の様子

